

新庁舎建設基本計画策定委員会市民部会

第3回第1分科会 議事要旨

日時：2004年9月11日 10時00分～12時00分

場所：町田市森野分庁舎4階 第2会議室

出席委員：井上（浩）分科会長、井上（直）副分科会長、赤堀委員、五十嵐委員、伊佐委員、大島委員、岡本委員、中里委員、西川（新）委員、野口委員

傍聴者数：1名

主な議題：1．前回議事要旨の確認
2．前回の議論のまとめ
3．新しい町田市庁舎像について
4．意見交換
5．次回以降の検討テーマについて
6．その他

審議内容：

< 今回のまとめ >

- ・ 望ましい市庁舎像について、第2回に引き続き各委員からの意見・要望及び意見交換を行い、市庁舎の姿、安全・安心、ユニバーサルデザイン、環境、その他の項目について活発に議論を行い、第2回の議論を深めていった。
- ・ また、いくつかの要望事項が提示された（内容は後掲）。
- ・ 議論の進め方や成果物について異論が提起され、次回以降に議論することとなった。

< 次回への継続事項 >

- ・ 個別テーマに関する議論を深める。
- ・ 庁舎の参考事例を参照しながら、議論する。また、見学会について検討する。
- ・ 庁舎の顔をどちらに向けるかの議論を行うかどうか、検討する。

議事要旨

1．前回議事要旨の確認

2．前回の議論のまとめ

- ・ 資料1に基づき説明。
- ・ 新庁舎予定敷地を通る断面図、及び現地周辺の航空写真について図面に基づき説明。
- ・ 資料1において、「メンテナンスの容易性」という文言がない旨の指摘あり。
- ・ 資料1は、前回の議論を想起し、委員による議論を活性化・深めて頂くための「たたき台」であり、何ら確定したのもでも、成果としてオーソライズされたものでもない。

3．新しい町田市庁舎像について

4．意見交換

- ・ 前回に引続き町田市庁舎像についての意見交換を行った。

- ・以降は、意見交換の内容を望ましい姿に関わる「キーワード」及び個別テーマに応じて整理・記述したものである。

望ましい姿

- ・前回提示されたキーワードに対し、追加的な説明・議論がなされた。
- ・前回提示のキーワードに加え、「変化や多様性に対応するオープンさ」が指摘された。

キーワード	概要
心のよりどころ	<ul style="list-style-type: none"> ・事務手続をするためだけに訪れるのでは、“よりどころ”にならない。<u>目的の分散</u>(事務手続だけでなく、市民として意見を述べるなど、他の様々な目的で庁舎を訪れたい、という主旨)が必要。 ・<u>支所等との連携のもと分散化させるのは、庁舎を長持ちさせるための方法でもある。</u>ネットワーク化により事務連絡上の支障のないように対応するなど、<u>IT</u>がそれを支える。 ・<u>建物と人との出会いの場に、「なごみ」の要素。</u>
シンプル・イズ・ベスト	<ul style="list-style-type: none"> ・平凡でも<u>長持ちするものであるべき。</u> ・必要最小限の機能で建てる。その後に必要なが生じたら建増しで対応。機能を順応させる合理的な計画が必要。
私たちの市庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・町田の顔として、完成後、<u>育てていくべきもの。</u> ・自分たちで利用しながら、<u>顔となっていく。</u>“リビングの延長”のキーワードにもつながる。なるべく市に関わりたい。 ・<u>市民が愛着</u>を持てること。特にソフト面。 ・<u>市民参加がしやすい、親密さ</u>が必要。 ・<u>永く使われるべき。</u> ・<u>誰しもがいいな、と関心をよぶような庁舎。共感をよぶような庁舎。</u> ・相談したいときにすぐに相談にのってくれ、解決がつくような庁舎であってほしい。
シティ・ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・いわゆる“市民ホール”的な場所ではなく、“市役所”であり、<u>市民が“寄り集う”場</u>である。 ・市の玄関、<u>接遇空間</u>としての役割。
開かれた(オープンな)庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中は変化していく。また、多様な人が市民となり、利用する。<u>多様な人々を受け入れるオープンさ</u>が必要。 ・変化への対応は完全ではありえず、<u>「納得」</u>してもらうことが大切。

安全・安心

指摘事項	要望事項
<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン上の配慮の中には、防犯上も有効なものがある。例えば、エレベーターで両方向から出入り可能なタイプや、シースルーなど。 ・境川に関連して、先日の法改正により、下流域での氾濫に対して上流域の責任が明確化された。いずれ遊水池（施設）が必要になるはず。 ・町田のもう一つの顔として、「第二の歌舞伎町」といわれる側面。防犯に関わる市民団体の数は多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全てとはいかずとも、<u>良く利用されるエレベーターは、ゆとりをもった大きさ</u>とすべき。 ・市役所を契機とし、ここから「<u>明るさ</u>」「<u>活力</u>」を発信するシンボルとなっていくべき。<u>そのための拠点</u>としての役割を担う。

ユニバーサルデザイン

指摘事項	要望事項
	<ul style="list-style-type: none"> ・来庁時に、高齢者も身体障害者も入りやすくしてほしい。身障者用駐車スペースは1台分では少ない。<u>広さにもゆとり</u>をもたせ、<u>車椅子での出入りが容易</u>なようにすべき。 ・<u>段差解消、トイレ</u>における配慮。 ・両方向から出入りできたり、<u>車椅子が少なくとも2台分入り、回転も容易なエレベーター</u>を。

環境

指摘事項	要望事項
<ul style="list-style-type: none"> ・現庁舎の敷地の緑、サンクンガーデンも貴重かつ重要。 ・対応することで、他の補助金の可能性も考えられ、財政的にも有利になるのではないか。 ・町田の印象は、自然が豊かなところ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎移転のシンボルとして、現庁舎の緑を移植も含め残していく方途を探るべき。 ・「<u>緑</u>」への配慮が必要。<u>積極的な緑化</u>を。 ・「<u>公園市役所</u>」「<u>パークシティオフィス</u>」と呼べるようなものを。

町田市らしさと庁舎

- ・議論の過程で、「町田市らしさ」について取り上げられた。

指摘事項	要望事項
<ul style="list-style-type: none"> ・町田の印象やイメージとして、以下の例がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊かなところ（多摩丘陵） ・サルビアの花（町田市の花） ・大賀ハス 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>積極的な緑化</u>を行うべき。

市民利用機能

指摘事項	要望事項
<ul style="list-style-type: none"> 支所、中規模会館、町内会の独自の会館などがあり、あえて本庁舎に市民が利用する会議室スペースなどが必要か、考えるべき。 本庁舎では、市民との会議室不足などが指摘されており、地域の活動のための場も重要。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民ホールとの連携も含めた、<u>全体マスタープラン</u>を見越した計画が必要。 町田市の活力発信、防犯のシンボリックな市民活動の拠点としての役割など、本庁舎でやるべき、本庁舎でしかない活動がある。

その他

指摘事項	要望事項
<ul style="list-style-type: none"> 境川に近接することで、水の活用を指摘する声が市民からも寄せられている。 40万都市として、1,500~2,000人規模のホールはあって然るべき。隣接する市民ホールは約800人収容。 	<ul style="list-style-type: none"> ツインタワーにすべきでない。 汚れにくい材質を採用する等によって、メンテナンスの容易性を確保してほしい。

個別のアイデア

- 議論の過程で、以下のような具体的なアイデアが提示・例示された。
 - 庁舎の壁に掛ける絵や写真を募る。
 - 待合ホールに水槽を設置、その管理は入居テナントに依頼する。
 - 高層化する場合にはビジネスホテルを併設する。
 - 外壁のレリーフにサルビアなどの要素を取り込む。
 - やすらぎ空間のとして「水」を活用し、大賀ハスと関連づける。
 - 「水」の活用という意味で、井戸や湧き水などを取り入れる。

5. 次回以降の検討テーマについて

- 庁舎の顔をどちらに向けるか、周辺との関わりやアプローチのあり方も含め、利用者やその交通手段を意識しながら議論したいとの提案があった。
- これに対して異論が出され、議論の可否については次回に持ち越された。
- 現敷地においてどの程度の建物が建てられるのか、空間規模の確認を行う。
- 参考となる他市の庁舎の事例を見学すべき、との指摘がなされた。次回には、その参考資料として5箇所程度の庁舎事例の資料を用意する。

6. その他

- 第1分科会の成果物として、分科会長提案（第2回第1分科会 資料1）のうち、「ダイヤグラム」が適切かどうか、問題提起がなされた。
- 敷地周辺の航空写真については、敷地周辺をより拡大したものと、各委員の手元資料として配布できるものを用意することとなった。

分科会で使用した資料

- ・ 資料 1 . 第 2 回の議論のまとめ
- ・ 第 2 回市民部会 議事要旨 (案)

以 上